

3学期の終業式式辞

平成30年3月23日（金）

おはようございます。

平成29年度3学期の終業式を迎えました。53回生の先輩が卒業して、体育館もこのように大変広く感じます。いよいよ君たちが最高学年と学校活動の中心となる2年生への進級を目前にして、皆さん自身もその自覚ができてきていることだと思います。

長い人生から考えると、この高校時代は大変短いですが、青年期といわれる時期で、これから大人になっていくためのとても大切な時期です。人間としての生き方、友情、社会の仕組み等に疑問を持ったりいろいろ思い悩む時期もあります。苦しいこともあります、避けて通れません。「これでいいのか」と悩みながら考え続けていくしかありません。

皆さんにはオリエンテーション合宿の際に、お話しをする機会がありました。2年生の諸君は2年前になりますが、どのような事だったか少しでも記憶に残っているでしょうか。今日はその時の内容で、特に皆さんにもう一度お話ししておきたいことがあります。ジャニーズのこととか駅の伝言板のこととか遠距離恋愛のことではありません。一つは「志を持つこと」、もう一つは「運を自分に引き寄せるここと」についてです。

「志」というものは、一度たても、やっていくうちに自分には合わないとわかったり、もっと別の事がでてきたりして、どんどん変わっていくものなのです。志を一度たてたら何が何でも・・・・では大変です。大事なことは「いつも持つておく」ことで、「自分に向いているかどうか」「本当に自分はこの事が好きなのかどうか」ということを考えながら生きていく必要があるというお話をしました。さらにそれは「自分にとってだけでなく、世のため人のためになるもの」が入っていなければいけないという事もお話ししました。

皆さんの振り返りシートを読むと、夢や目標は一度決めたら絶対に変えないで頑張らないといけないと考えていて、この話に強い印象を持った生徒が大勢いました。また、すでに目標や夢を持っている人は、具体的に行動を起こしたりチャレンジしてみようという事を書いてくれた生徒も大勢いました。さて、あれから皆さんどうですか？とにかく自分がやっていて楽しいこと、自分にとってよいと思うこと等をやってみたり、調べてみたりしてみているでしょうか。

圧倒的に多くの人が、夢や目標、志は持っていた方がいいとい考えていました。では、「その目標や夢を持ってやっていくために必要なことは何ですか？」という問いかには、「努力」「勉強」「強い意志」「忍耐力」「根気」「失敗の経験」「精神力」等々色々な事を挙げてくれました。「友達」「仲間」という答えには大きな拍手が湧きました。私は皆さんの反応や表情を見て、とても楽しく皆さんと話しができましたし、皆さんの県宝でこれから頑張ろうという思いが感じられました。

一生懸命に頑張った結果、努力してもうまくいかない時もありますね。「自分は運が悪い」「チャンスがない」「自分は努力して最善も尽くしたのに、目標までいかない」等と書いている人もいました。さあ、どうするか。「運を自分に引き寄せるため」のキーワー

ドとして「天の時」「地の利」「人の和」の3つをお話しました。

「天の時」とは、「時代の趨勢」ということで「時代や世の中の状況を見極め、キャッチするために、情報収集が必要」ということです。それから、どこに自分の身を置いて、どこで活動するのかということも大切です。自分がいる場所と自分の立場との2つの意味で大切なことです。このことが「地の利」です。そして皆さんのが最も心に響いたと感想を言ってくれた事が「人の和」でした。人間は一人では生きていけません。お互いに助け合って、支え支えられて生きています。相手を思い自分の気持ちも伝えてよい信頼関係を築いていくことです。先生方に相談したり、県宝の仲間や先輩後輩と活動する中で、困ったこと、つらいことや嫌なことから逃げずに、それを何とか乗り越えて克服しようとして欲しいと思います。これらの3つのことをいつも頭に置いて、皆さんの運をぐっと自分のほうへ引き寄せてください。

4月の新年度をスムースにスタートさせ、これから高校生活をよりよいものとするためにももう一度今日お話ししたことを考えてみてください。

以上、第3学期終業式の式辞とします。